

- 問1 富山県の神通川（じんづうがわ）の近くで発生した、鉱山（こうざん）から出たカドミウムという物質が原因の公害病は何でしょう。
- 問2 公害病裁判の結果、日本社会にとってどのような大切な変化が起きましたか。
- 問3 日本で台風がよく接近したり、上陸したりする時期はいつごろですか。
- 問4 日本は地震がとても多い国です。これまで起きた大きな地震のうち、2011年に東北地方を中心に発生し、津波による大きな被害が出た震災を何とといいますか。
- 問5 貴重な自然や歴史的な建物が開発によって壊されないように、市民がお金を出し合ってその土地を買い取り、守っていく活動を何とといいますか。
- 問6 ラムサール条約で湿地を保護することには、どのような意味があると考えられますか。
- 問7 地球温暖化の主な原因として、工場や自動車などから多く出されている物質は何ですか。
- 問8 地球温暖化をふせぐために、わたしたちの社会で工夫が求められていることは何ですか。
- 問9 高度経済成長期に、工場から出る煙や排水によって私たちのくらしや健康が守られなくなった問題を何とといいますか。
- 問10 日本の中で、台風の通り道になりやすく、特に大きな影響を受けやすいのはどこですか。
- 問11 過去の大きな地震では、建物の倒壊以外にも多くの被害が出ました。東日本大震災のような海に近い場所で起きた地震において、特に大きな被害を引き起こした原因は何ですか。
- 問12 沖縄では、首里城（しゅりじょう）や美しい海といった「観光資源」を大切に守り、多くの人に知ってもらおう取り組みをしています。なぜ沖縄では、このような取り組みを一生懸命に行っているのでしょうか。
- 問13 ラムサール条約は、どのような場所を大切に守っていくための約束事ですか。
- 問14 日本の高度経済成長期に、工場の排気や排水によって病気になった人々が、原因となった会社に対して責任を求め、裁判所にうったえを起こしたことを何とといいますか。
- 問15 四大公害病の一つである「四日市ぜんそく」は、どのようなことが原因で発生した健康被害でしょうか。
- 問16 貴重な自然を世界遺産として登録する一番の目的は、何のためですか。
- 問17 1960年代ごろ、工場がたくさんつくられ、国の産業が急速に発展した時期のことを何とよびますか。

答え合わせ・解説 No.1

問1	答え イタイタイ病	富山県の神通川流域で発生したこの病気は、鉱山から川に流れ出たカドミウムが米や水を通じて体にたまり、骨がもろくなって激しい痛みを感じるようになったことからこの名前がつけました。工場の排水や鉱山の廃棄物が環境に与えた大きな影響を示す、四大公害病の一つです。
問2	答え 企業の環境を守る責任が強く求められるようになった	公害病裁判を通じて、企業が利益を追求するだけでなく、環境や人々の健康を守る「企業の社会的責任」が非常に重要であることが社会全体に認められるようになりました。これにより、環境を守るための新しい法律や決まりが作られるようになりました。
問3	答え 夏から秋	台風は、海水の温度が高くなる夏から秋にかけて発生しやすいため、日本列島にもこの時期に多くの台風が近づいたり上陸したりします。
問4	答え 東日本大震災	2011年3月11日に発生した地震は、巨大な津波をともしない、東北地方から関東地方の広い範囲に甚大な被害をもたらしました。この出来事は東日本大震災と呼ばれ、防災の大切さをあらためて考えるきっかけとなりました。
問5	答え ナショナルトラスト	市民が自発的に寄付を集め、開発から土地や建物を買って守る活動のことです。国や行政による保護だけでなく、一人ひとりが環境保護の主体となって取り組むことに大きな特徴があります。
問6	答え 水鳥だけでなく、そこに住むたくさんの生き物の命を守るため	湿地は水鳥のすみかであるだけでなく、多くの動植物が命を育む場所であり、自然の浄化作用も持っています。この条約は、単に鳥を守るだけでなく、湿地全体の豊かな生態系を維持し、地球環境を守ることを目指しています。
問7	答え 二酸化炭素	私たちが生活する中で使っている自動車や工場でのエネルギー利用によって、二酸化炭素がたくさん排出されています。この二酸化炭素が空気にたまることで、地球を温める温室のようなはたらきをしてしまい、気温が上がってしまうのです。
問8	答え 二酸化炭素を出さないような製品を作ること	地球温暖化の主な原因である二酸化炭素を減らすためには、エネルギーをむだに使わない技術や、環境にやさしい製品づくりがとても大切です。地球全体で二酸化炭素の排出量を抑える努力が求められています。
問9	答え 公害	公害は、産業が急激に成長する一方で、環境への対策が十分でなかったために引き起こされました。この被害をきっかけに、国や地域では自然環境を守るための新しい法律や取り組みが本格的に進められるようになりました。
問10	答え 沖縄県	沖縄県は、南の海で発生した台風が日本付近に進むときの通り道にあたるため、他の地域に比べて台風の影響を強く受けやすい地域です。
問11	答え 巨大な津波	海の中で大きな地震が起きると、海面が大きく盛り上がり、海岸へ向かって巨大な波（津波）が押し寄せます。東日本大震災では、この津波によって多くの住宅や施設が流され、非常に大きな被害となりました。
問12	答え 歴史や自然を観光業として生かし、経済を支えるため	沖縄には他の地域にはない独自の歴史や豊かな自然があり、それらは多くの観光客をひきつける「観光資源」となっています。これを活かした観光業は沖縄の経済を支える中心的な役割を担っているため、地域の宝として大切に活用されています。
問13	答え たくさんの水鳥が集まる湿地	ラムサール条約は、水鳥が生きていくために欠かせない湿地を守り、その環境を次世代へ引き継ぐことを目的とした国際的な約束です。世界中の国々が協力して、貴重な自然環境を保護しています。
問14	答え 公害裁判	公害によって健康を害した被害者やその家族が、原因となった企業に責任を認めさせ、被害のつぐないを求めて裁判を起こしました。これらは「公害裁判」と呼ばれ、四大公害病の裁判ですべて住民（被害者）側が勝訴し、日本の公害対策や環境保護が進む大きなきっかけとなりました。
問15	答え 工場の煙に含まれる有害なガスが空気を汚したから	四日市ぜんそくは、三重県四日市市の石油化学コンビナート（工場が集まった地域）から出た煙（亜硫酸ガスなどの有害な物質）による大気汚染が原因で発生しました。この汚れた空気を吸い込んだ周辺の住民に、激しいせきやぜんそくなどの呼吸器の病気が起こりました。他の選択肢は、水俣病やイタイタイ病などの異なる公害の原因です。
問16	答え その場所の自然や価値を世界中で守り続けるため	世界遺産に登録されることで、その場所が世界的に価値のある場所だと認められます。単に有名にするだけでなく、国や地域が協力し、自然環境を壊さずに未来へ残していく仕組みを整えることが、もっとも大切な目的です。
問17	答え 高度経済成長期	この時期は、日本の産業が大きな発展をとげた時期ですが、その一方で工場から出る煙や排水によって空気がよごれたり、水が汚染されたりする「公害」という深刻な問題も発生しました。

- 問1 熊本県や鹿児島県の沿岸で発生した、工場から海に流された有機水銀が原因の公害病は何でしょう。
- 問2 日本で台風がよく接近したり、上陸したりする時期はいつごろですか。
- 問3 ラムサール条約は、どのような場所を大切に守っていくための約束事ですか。
- 問4 高度経済成長期に、工場から出る煙や排水によって私たちのくらしや健康が守られなくなった問題を何といえますか。
- 問5 過去の大きな地震では、建物の倒壊以外にも多くの被害が出ました。東日本大震災のような海に近い場所で起きた地震において、特に大きな被害を引き起こした原因は何ですか。
- 問6 1960年代ごろ、工場がたくさんつくれ、国の産業が急速に発展した時期のことを何とよびますか。
- 問7 日本は地震がとても多い国です。これまで起きた大きな地震のうち、2011年に東北地方を中心に発生し、津波による大きな被害が出た震災を何といえますか。
- 問8 日本の中で、台風の通り道になりやすく、特に大きな影響を受けやすいのはどこですか。
- 問9 日本の高度経済成長期に、工場の排気や排水によって病気になった人々が、原因となった会社に対して責任を求め、裁判所にうったえを起こしたことを何といえますか。
- 問10 貴重な自然や歴史的な建物が開発によって壊されないように、市民がお金を出し合ってその土地を買い取り、守っていく活動を何といえますか。
- 問11 地球温暖化（ちきゅうおんだんか）とは、地球全体にどのような変化が起こる現象ですか。
- 問12 貴重な自然や歴史的な遺産を、世界のみんなで協力して守っていくための仕組みを何といえますか。
- 問13 四大公害病の一つである「四日市ぜんそく」は、どのようなことが原因で発生した健康被害でしょうか。
- 問14 貴重な自然を世界遺産として登録する一番の目的は、何のためですか。
- 問15 ラムサール条約で湿地を保護することには、どのような意味があると考えられますか。
- 問16 沖縄では、首里城（しゅりじょう）や美しい海といった「観光資源」を大切に守り、多くの人に知ってもらう取り組みをしています。なぜ沖縄では、このような取り組みを一生懸命に行っているのでしょうか。
- 問17 地球温暖化をふせぐために、わたしたちの社会で工夫が求められていることは何ですか。

答え合わせ・解説 No.2

問1	答え 水俣病	熊本県の水俣湾周辺などで発生した病気です。工場から海に流された有害な水銀を魚や貝が食べ、それを人間が食べたことで体の中に毒がたまりました。この悲しい経験から、現在は工場の排水をきれいに処理する仕組みなどが厳しく定められるようになりました。
問2	答え 夏から秋	台風は、海水の温度が高くなる夏から秋にかけて発生しやすいため、日本列島にもこの時期に多くの台風が近づいたり上陸したりします。
問3	答え たくさんの水鳥が集まる湿地	ラムサール条約は、水鳥が生きていくために欠かせない湿地を守り、その環境を次世代へ引き継ぐことを目的とした国際的な約束です。世界中の国々が協力して、貴重な自然環境を保護しています。
問4	答え 公害	公害は、産業が急激に成長する一方で、環境への対策が十分でなかったために引き起こされました。この被害をきっかけに、国や地域では自然環境を守るための新しい法律や取り組みが本格的に進められるようになりました。
問5	答え 巨大な津波	海の中で大きな地震が起きると、海面が大きく盛り上がり、海岸へ向かって巨大な波（津波）が押し寄せます。東日本大震災では、この津波によって多くの住宅や施設が流され、非常に大きな被害となりました。
問6	答え 高度経済成長期	この時期は、日本の産業が大きな発展をとげた時期ですが、その一方で工場から出る煙や排水によって空気がよごれたり、水が汚染されたりする「公害」という深刻な問題も発生しました。
問7	答え 東日本大震災	2011年3月11日に発生した地震は、巨大な津波をとめない、東北地方から関東地方の広い範囲に甚大な被害をもたらしました。この出来事は東日本大震災と呼ばれ、防災の大切さをあらためて考えるきっかけとなりました。
問8	答え 沖縄県	沖縄県は、南の海で発生した台風が日本付近に進むときの通り道にあたるため、他の地域に比べて台風の影響を強く受けやすい地域です。
問9	答え 公害裁判	公害によって健康を害した被害者やその家族が、原因となった企業に責任を認めさせ、被害のつぐないを求めて裁判を起こしました。これらは「公害裁判」と呼ばれ、四大公害病の裁判ではすべて住民（被害者）側が勝訴し、日本の公害対策や環境保護が進む大きなきっかけとなりました。
問10	答え ナショナルトラスト	市民が自発的に寄付を集め、開発から土地や建物を買い取って守る活動のことです。国や行政による保護だけでなく、一人ひとりが環境保護の主体となって取り組むことに大きな特徴があります。
問11	答え 地球の平均気温が上がること	地球温暖化とは、空気中の二酸化炭素などの温室効果ガスが増えることで、地球全体の熱が外に逃げにくくなり、平均気温が上昇してしまう現象のことです。これにより、氷河が溶けて海面が上がったり、異常気象が増えたりするなどの深刻な問題が引き起こされています。
問12	答え 世界遺産	世界遺産は、人類全体にとってかけがえのない宝として、国際的に登録され、将来の世代まで大切に守り伝えていくために作られた制度です。これには、自然の価値が高い場所と、歴史的な建物などの文化的な価値がある場所の両方が含まれています。
問13	答え 工場の煙に含まれる有害なガスが空気を汚したから	四日市ぜんそくは、三重県四日市市の石油化学コンビナート（工場が集まった地域）から出た煙（亜硫酸ガスなどの有害な物質）による大気汚染が原因で発生しました。この汚れた空気を吸い込んだ周辺の住民に、激しいせきやぜんそくなどの呼吸器の病気が起こりました。他の選択肢は、水俣病やイタイイタイ病などの異なる公害の原因です。
問14	答え その場所の自然や価値を世界中で守り続けるため	世界遺産に登録されることで、その場所が世界的に価値のある場所だと認められます。単に有名にするだけでなく、国や地域が協力し、自然環境を壊さずに未来へ残していく仕組みを整えることが、もっとも大切な目的です。
問15	答え 水鳥だけでなく、そこに住むたくさんの生き物の命を守るため	湿地は水鳥のすみかであるだけでなく、多くの動植物が命を育む場所であり、自然の浄化作用も持っています。この条約は、単に鳥を守るだけでなく、湿地全体の豊かな生態系を維持し、地球環境を守ることを目指しています。
問16	答え 歴史や自然を観光業として生かし、経済を支えるため	沖縄には他の地域にはない独自の歴史や豊かな自然があり、それらは多くの観光客をひきつける「観光資源」となっています。これを活かした観光業は沖縄の経済を支える中心的な役割を担っているため、地域の宝として大切に活用されています。
問17	答え 二酸化炭素を出さないような製品を作ること	地球温暖化の主な原因である二酸化炭素を減らすためには、エネルギーをむだに使わない技術や、環境にやさしい製品づくりがとても大切です。地球全体で二酸化炭素の排出量を抑える努力が求められています。

- 問1 四大公害病の一つである「四日市ぜんそく」は、どのようなことが原因で発生した健康被害でしょうか。
- 問2 日本は地震がとて多い国です。これまで起きた大きな地震のうち、2011年に東北地方を中心に発生し、津波による大きな被害が出た震災を何といいますか。
- 問3 貴重な自然や歴史的な遺産を、世界の人みんなで協力して守っていくための仕組みを何といいますか。
- 問4 高度経済成長期に、工場から出る煙や排水によって私たちのくらしや健康が守られなくなった問題を何といいますか。
- 問5 貴重な自然を世界遺産として登録する一番の目的は、何のためですか。
- 問6 富山県の神通川（じんづうがわ）の近くで発生した、鉱山（こうざん）から出たカドミウムという物質が原因の公害病は何でしょう。
- 問7 沖縄では、首里城（しゅりじょう）や美しい海といった「観光資源」を大切に守り、多くの人に知ってもらう取り組みをしています。なぜ沖縄では、このような取り組みを一生懸命に行っているのでしょうか。
- 問8 日本の高度経済成長期に、工場の排気や排水によって病気になった人々が、原因となった会社に対して責任を求め、裁判所に入ったえを起こしたことを何といいますか。
- 問9 地球温暖化（ちきゅうおんだんか）とは、地球全体にどのような変化が起こる現象ですか。
- 問10 貴重な自然や歴史的な建物が開発によって壊されないように、市民がお金を出し合ってその土地を買取り、守っていく活動を何といいますか。
- 問11 過去の大きな地震では、建物の倒壊以外にも多くの被害が出ました。東日本大震災のような海に近い場所で起きた地震において、特に大きな被害を引き起こした原因は何ですか。
- 問12 地球温暖化をふせぐために、わたしたちの社会で工夫が求められていることは何ですか。
- 問13 熊本県や鹿児島県の沿岸で発生した、工場から海に流された有機水銀が原因の公害病は何でしょう。
- 問14 公害病裁判の結果、日本社会にとってどのような大切な変化が起きましたか。
- 問15 日本の中で、台風の通り道になりやすく、特に大きな影響を受けやすいのはどこですか。
- 問16 地球温暖化の主な原因として、工場や自動車などから多く出されている物質は何ですか。
- 問17 ラムサール条約で湿地を保護することには、どのような意味があると考えられますか。

答え合わせ・解説 No.3

問1	答え 工場の煙に含まれる有害なガスが空気を汚したから	四日市ぜんそくは、三重県四日市市の石油化学コンビナート（工場が集まった地域）から出た煙（亜硫酸ガスなどの有害な物質）による大気汚染が原因で発生しました。この汚れた空気を吸い込んだ周辺の住民に、激しいせきやぜんそくなどの呼吸器の病気が起こりました。他の選択肢は、水俣病やイタイタイ病などの異なる公害の原因です。
問2	答え 東日本大震災	2011年3月11日に発生した地震は、巨大な津波をともない、東北地方から関東地方の広い範囲に甚大な被害をもたらしました。この出来事は東日本大震災と呼ばれ、防災の大切さをあらためて考えるきっかけとなりました。
問3	答え 世界遺産	世界遺産は、人類全体にとってかけがえない宝として、国際的に登録され、将来の世代まで大切に守り伝えていくために作られた制度です。これには、自然の価値が高い場所と、歴史的な建物などの文化的な価値がある場所の両方が含まれています。
問4	答え 公害	公害は、産業が急激に成長する一方で、環境への対策が十分でなかったために引き起こされました。この被害をきっかけに、国や地域では自然環境を守るための新しい法律や取り組みが本格的に進められるようになりました。
問5	答え その場所の自然や価値を世界中で守り続けるため	世界遺産に登録されることで、その場所が世界的に価値のある場所だと認められます。単に有名にするだけでなく、国や地域が協力し、自然環境を壊さずに未来へ残していく仕組みを整えることが、もっとも大切な目的です。
問6	答え イタイタイ病	富山県の神通川流域で発生したこの病気は、鉱山から川に流れ出たカドミウムが米や水を通じて体にたまり、骨がもろくなって激しい痛みを感じるようになったことからこの名前がつけられました。工場の排水や鉱山の廃棄物が環境に与えた大きな影響を示す、四大公害病の一つです。
問7	答え 歴史や自然を観光業として生かし、経済を支えるため	沖縄には他の地域にはない独自の歴史や豊かな自然があり、それらは多くの観光客をひきつける「観光資源」となっています。これを活かした観光業は沖縄の経済を支える中心的な役割を担っているため、地域の宝として大切に活用されています。
問8	答え 公害裁判	公害によって健康を害した被害者やその家族が、原因となった企業に責任を認めさせ、被害のつぐないを求めて裁判を起こしました。これらは「公害裁判」と呼ばれ、四大公害病の裁判ではすべて住民（被害者）側が勝訴し、日本の公害対策や環境保護が進む大きなきっかけとなりました。
問9	答え 地球の平均気温が上がること	地球温暖化とは、空気中の二酸化炭素などの温室効果ガスが増えることで、地球全体の熱が外に逃げにくくなり、平均気温が上昇してしまう現象のことです。これにより、氷河が溶けて海面が上がったり、異常気象が増えたりするなどの深刻な問題が引き起こされています。
問10	答え ナショナルトラスト	市民が自発的に寄付を集め、開発から土地や建物を買い取って守る活動のことです。国や行政による保護だけでなく、一人ひとりが環境保護の主体となって取り組むことに大きな特徴があります。
問11	答え 巨大な津波	海の中で大きな地震が起きると、海面が大きく盛り上がり、海岸へ向かって巨大な波（津波）が押し寄せます。東日本大震災では、この津波によって多くの住宅や施設が流され、非常に大きな被害となりました。
問12	答え 二酸化炭素を出さないような製品を作ること	地球温暖化の主な原因である二酸化炭素を減らすためには、エネルギーをむだに使わない技術や、環境にやさしい製品づくりがとて大切です。地球全体で二酸化炭素の排出量を抑える努力が求められています。
問13	答え 水俣病	熊本県の水俣湾周辺などで発生した病気です。工場から海に流された有害な水銀を魚や貝が食べ、それを人間が食べたことで体の中に毒がたまりました。この悲しい経験から、現在は工場の排水をきれいに処理する仕組みなどが厳しく定められるようになりました。
問14	答え 企業の環境を守る責任が強く求められるようになった	公害病裁判を通じて、企業が利益を追求するだけでなく、環境や人々の健康を守る「企業の社会的責任」が非常に重要であることが社会全体に認められるようになりました。これにより、環境を守るための新しい法律や決まりが作られるようになりました。
問15	答え 沖縄県	沖縄県は、南の海で発生した台風が日本付近に進むときの通り道にあたるため、他の地域に比べて台風の影響を強く受けやすい地域です。
問16	答え 二酸化炭素	私たちが生活する中で使っている自動車や工場でのエネルギー利用によって、二酸化炭素がたくさん排出されています。この二酸化炭素が空気にたまることで、地球を温める温室のようなはたらきをしてしまい、気温が上がってしまうのです。
問17	答え 水鳥だけでなく、そこに住むたくさんの生き物の命を守るため	湿地は水鳥のすみかであるだけでなく、多くの動植物が命を育む場所であり、自然の浄化作用も持っています。この条約は、単に鳥を守るだけでなく、湿地全体の豊かな生態系を維持し、地球環境を守ることを目指しています。

- 問1 ラムサール条約は、どのような場所を大切に守っていくための約束事ですか。
- 問2 1960年代ごろ、工場がたくさんつくられ、国の産業が急速に発展した時期のことを何とよびますか。
- 問3 貴重な自然を世界遺産として登録する一番の目的は、何のためですか。
- 問4 日本で台風がよく接近したり、上陸したりする時期はいつごろですか。
- 問5 ラムサール条約で湿地を保護することには、どのような意味があると考えられますか。
- 問6 日本の高度経済成長期に、工場の排気や排水によって病気になった人々が、原因となった会社に対して責任を求め、裁判所にうったえを起こしたことを何といいますか。
- 問7 公害病裁判の結果、日本社会にとってどのような大切な変化が起きましたか。
- 問8 地球温暖化の主な原因として、工場や自動車などから多く出されている物質は何ですか。
- 問9 過去の大きな地震では、建物の倒壊以外にも多くの被害が出ました。東日本大震災のような海に近い場所で起きた地震において、特に大きな被害を引き起こした原因は何ですか。
- 問10 熊本県や鹿児島県の沿岸で発生した、工場から海に流された有機水銀が原因の公害病は何でしょう。
- 問11 日本は地震がとても多い国です。これまで起きた大きな地震のうち、2011年に東北地方を中心に発生し、津波による大きな被害が出た震災を何といいますか。
- 問12 四大公害病の一つである「四日市ぜんそく」は、どのようなことが原因で発生した健康被害でしょうか。
- 問13 貴重な自然や歴史的な遺産を、世界の人々で協力して守っていくための仕組みを何といいますか。
- 問14 富山県の神通川（じんづうがわ）の近くで発生した、鉱山（こうざん）から出たカドミウムという物質が原因の公害病は何でしょう。
- 問15 貴重な自然や歴史的な建物が開発によって壊されないように、市民がお金を出し合っその土地を買い取り、守っていく活動を何といいますか。
- 問16 高度経済成長期に、工場から出る煙や排水によって私たちのくらしや健康が守られなくなった問題を何といいますか。
- 問17 地球温暖化をふせぐために、わたしたちの社会で工夫が求められていることは何ですか。

答え合わせ・解説 No.4

問1	答え たくさんの水鳥が集まる湿地	ラムサール条約は、水鳥が生きていくために欠かせない湿地を守り、その環境を次世代へ引き継ぐことを目的とした国際的な約束です。世界中の国々が協力して、貴重な自然環境を保護しています。
問2	答え 高度経済成長期	この時期は、日本の産業が大きな発展をとげた時期ですが、その一方で工場から出る煙や排水によって空気がよごれたり、水が汚染されたりする「公害」という深刻な問題も発生しました。
問3	答え その場所の自然や価値を世界中で守り続けるため	世界遺産に登録されることで、その場所が世界的に価値のある場所だと認められます。単に有名にするだけでなく、国や地域が協力し、自然環境を壊さずに未来へ残していく仕組みを整えることが、もっとも大切な目的です。
問4	答え 夏から秋	台風は、海水の温度が高くなる夏から秋にかけて発生しやすいため、日本列島にもこの時期に多くの台風が近づいたり上陸したりします。
問5	答え 水鳥だけでなく、そこに住むたくさんの生き物の命を守るため	湿地は水鳥のすみかであるだけでなく、多くの動植物が命を育む場所であり、自然の浄化作用も持っています。この条約は、単に鳥を守るだけでなく、湿地全体の豊かな生態系を維持し、地球環境を守ることを目指しています。
問6	答え 公害裁判	公害によって健康を害した被害者やその家族が、原因となった企業に責任を認めさせ、被害のつぐないを求めて裁判を起こしました。これらは「公害裁判」と呼ばれ、四大公害病の裁判ではすべて住民（被害者）側が勝訴し、日本の公害対策や環境保護が進む大きなきっかけとなりました。
問7	答え 企業の環境を守る責任が強く求められるようになった	公害病裁判を通じて、企業が利益を追求するだけでなく、環境や人々の健康を守る「企業の社会的責任」が非常に重要であることが社会全体に認められるようになりました。これにより、環境を守るための新しい法律や決まりが作られるようになりました。
問8	答え 二酸化炭素	私たちが生活する中で使っている自動車や工場でのエネルギー利用によって、二酸化炭素がたくさん排出されています。この二酸化炭素が空気にたまることで、地球を温める温室のようなはたらきをしてしまい、気温が上がってしまうのです。
問9	答え 巨大な津波	海の中で大きな地震が起きると、海面が大きく盛り上がり、海岸へ向かって巨大な波（津波）が押し寄せます。東日本大震災では、この津波によって多くの住宅や施設が流され、非常に大きな被害となりました。
問10	答え 水俣病	熊本県の水俣湾周辺などで発生した病気です。工場から海に流された有害な水銀を魚や貝が食べ、それを人間が食べたことで体の中に毒がたまりました。この悲しい経験から、現在は工場の排水をきれいに処理する仕組みなどが厳しく定められるようになりました。
問11	答え 東日本大震災	2011年3月11日に発生した地震は、巨大な津波をともしない、東北地方から関東地方の広い範囲に甚大な被害をもたらしました。この出来事は東日本大震災と呼ばれ、防災の大切さをあらためて考えるきっかけとなりました。
問12	答え 工場の煙に含まれる有害なガスが空気を汚したから	四日市ぜんそくは、三重県四日市市の石油化学コンビナート（工場が集まった地域）から出た煙（亜硫酸ガスなどの有害な物質）による大気汚染が原因で発生しました。この汚れた空気を吸い込んだ周辺の住民に、激しいせきやぜんそくなどの呼吸器の病気が起こりました。他の選択肢は、水俣病やイタイイタイ病などの異なる公害の原因です。
問13	答え 世界遺産	世界遺産は、人類全体にとってかけがえのない宝として、国際的に登録され、将来の世代まで大切に守り伝えていくために作られた制度です。これには、自然の価値が高い場所と、歴史的な建物などの文化的な価値がある場所の両方が含まれています。
問14	答え イタイイタイ病	富山県の神通川流域で発生したこの病気は、鉱山から川に流れ出たカドミウムが米や水を通じて体にたまり、骨がもろくなって激しい痛みを感じるようになったことからこの名前がつけられました。工場の排水や鉱山の廃棄物が環境に与えた大きな影響を示す、四大公害病の一つです。
問15	答え ナショナルトラスト	市民が自発的に寄付を集め、開発から土地や建物を買って守る活動のことです。国や行政による保護だけでなく、一人ひとりが環境保護の主体となって取り組むことに大きな特徴があります。
問16	答え 公害	公害は、産業が急激に成長する一方で、環境への対策が十分でなかったために引き起こされました。この被害をきっかけに、国や地域では自然環境を守るための新しい法律や取り組みが本格的に進められるようになりました。
問17	答え 二酸化炭素を出さないような製品を作ること	地球温暖化の主な原因である二酸化炭素を減らすためには、エネルギーをむだに使わない技術や、環境にやさしい製品づくりがとても大切です。地球全体で二酸化炭素の排出量を抑える努力が求められています。

- 問1 四大公害病の一つである「四日市ぜんそく」は、どのようなことが原因で発生した健康被害でしょうか。
- 問2 過去の大きな地震では、建物の倒壊以外にも多くの被害が出ました。東日本大震災のような海に近い場所で起きた地震において、特に大きな被害を引き起こした原因は何ですか。
- 問3 ラムサール条約で湿地を保護することには、どのような意味があると考えられますか。
- 問4 ラムサール条約は、どのような場所を大切に守っていくための約束事ですか。
- 問5 公害病裁判の結果、日本社会にとってどのような大切な変化が起きましたか。
- 問6 日本は地震がとても多い国です。これまで起きた大きな地震のうち、2011年に東北地方を中心に発生し、津波による大きな被害が出た震災を何とといいますか。
- 問7 貴重な自然や歴史的な遺産を、世界のみんなと協力して守っていくための仕組みを何とといいますか。
- 問8 富山県の神通川（じんづうがわ）の近くで発生した、鉱山（こうざん）から出たカドミウムという物質が原因の公害病は何でしょうか。
- 問9 日本で台風がよく接近したり、上陸したりする時期はいつごろですか。
- 問10 1960年代ごろ、工場がたくさんつくり、国の産業が急速に発展した時期のことを何とよびますか。
- 問11 貴重な自然を世界遺産として登録する一番の目的は、何のためですか。
- 問12 高度経済成長期に、工場から出る煙や排水によって私たちのくらしや健康が守られなくなった問題を何とといいますか。
- 問13 貴重な自然や歴史的な建物が開発によって壊されないように、市民がお金を出し合ってその土地を買い取り、守っていく活動を何とといいますか。
- 問14 日本の中で、台風の通り道になりやすく、特に大きな影響を受けやすいのはどこですか。
- 問15 沖縄では、首里城（しゅりじょう）や美しい海といった「観光資源」を大切に守り、多くの人に知ってもらおう取り組みをしています。なぜ沖縄では、このような取り組みを一生懸命に行っているのでしょうか。
- 問16 地球温暖化をふせぐために、わたしたちの社会で工夫が求められていることは何ですか。
- 問17 地球温暖化の主な原因として、工場や自動車などから多く出されている物質は何ですか。

答え合わせ・解説 No.5

問1	答え 工場の煙に含まれる有害なガスが空気を汚したから	四日市ぜんそくは、三重県四日市市の石油化学コンビナート（工場が集まった地域）から出た煙（亜硫酸ガスなどの有害な物質）による大気汚染が原因で発生しました。この汚れた空気を吸い込んだ周辺の住民に、激しいせきやぜんそくなどの呼吸器の病気が起こりました。他の選択肢は、水俣病やイタイイタイ病などの異なる公害の原因です。
問2	答え 巨大な津波	海の中で大きな地震が起きると、海面が大きく盛り上がり、海岸へ向かって巨大な波（津波）が押し寄せます。東日本大震災では、この津波によって多くの住宅や施設が流され、非常に大きな被害となりました。
問3	答え 水鳥だけでなく、そこに住むたくさんの生き物の命を守るため	湿地は水鳥のすみかであるだけでなく、多くの動植物が命を育む場所であり、自然の浄化作用も持っています。この条約は、単に鳥を守るだけでなく、湿地全体の豊かな生態系を維持し、地球環境を守ることを目指しています。
問4	答え たくさん水鳥が集まる湿地	ラムサール条約は、水鳥が生きていくために欠かせない湿地を守り、その環境を次世代へ引き継ぐことを目的とした国際的な約束です。世界中の国々が協力して、貴重な自然環境を保護しています。
問5	答え 企業の環境を守る責任が強く求められるようになった	公害病裁判を通じて、企業が利益を追求するだけでなく、環境や人々の健康を守る「企業の社会的責任」が非常に重要であることが社会全体に認められるようになりました。これにより、環境を守るための新しい法律や決まりが作られるようになりました。
問6	答え 東日本大震災	2011年3月11日に発生した地震は、巨大な津波をともない、東北地方から関東地方の広い範囲に甚大な被害をもたらしました。この出来事は東日本大震災と呼ばれ、防災の大切さをあらためて考えるきっかけとなりました。
問7	答え 世界遺産	世界遺産は、人類全体にとってかけがえのない宝として、国際的に登録され、将来の世代まで大切に守り伝えていくために作られた制度です。これには、自然の価値が高い場所と、歴史的な建物などの文化的な価値がある場所の両方が含まれています。
問8	答え イタイイタイ病	富山県の神通川流域で発生したこの病気は、鉱山から川に流れ出たカドミウムが米や水を通じて体にたまり、骨がもろくなって激しい痛みを感じるようになったことからこの名前がつけられました。工場の排水や鉱山の廃棄物が環境に与えた大きな影響を示す、四大公害病の一つです。
問9	答え 夏から秋	台風は、海水の温度が高くなる夏から秋にかけて発生しやすいため、日本列島にもこの時期に多くの台風が近づいたり上陸したりします。
問10	答え 高度経済成長期	この時期は、日本の産業が大きな発展をとげた時期ですが、その一方で工場から出る煙や排水によって空気がよごれたり、水が汚染されたりする「公害」という深刻な問題も発生しました。
問11	答え その場所の自然や価値を世界中で守り続けるため	世界遺産に登録されることで、その場所が世界的に価値のある場所だと認められます。単に有名にするだけでなく、国や地域が協力し、自然環境を壊さずに未来へ残していく仕組みを整えることが、もっとも大切な目的です。
問12	答え 公害	公害は、産業が急激に成長する一方で、環境への対策が十分でなかったために引き起こされました。この被害をきっかけに、国や地域では自然環境を守るための新しい法律や取り組みが本格的に進められるようになりました。
問13	答え ナショナルトラスト	市民が自発的に寄付を集め、開発から土地や建物を買い取って守る活動のことです。国や行政による保護だけでなく、一人ひとりが環境保護の主体となって取り組むことに大きな特徴があります。
問14	答え 沖縄県	沖縄県は、南の海で発生した台風が日本付近に進むときの通り道にあたるため、他の地域に比べて台風の影響を強く受けやすい地域です。
問15	答え 歴史や自然を観光業として生かし、経済を支えるため	沖縄には他の地域にはない独自の歴史や豊かな自然があり、それらは多くの観光客をひきつける「観光資源」となっています。これを活かした観光業は沖縄の経済を支える中心的な役割を担っているため、地域の宝として大切に活用されています。
問16	答え 二酸化炭素を出さないような製品を作ること	地球温暖化の主な原因である二酸化炭素を減らすためには、エネルギーをむだに使わない技術や、環境にやさしい製品づくりがとても大切です。地球全体で二酸化炭素の排出量を抑える努力が求められています。
問17	答え 二酸化炭素	私たちが生活の中で使っている自動車や工場でのエネルギー利用によって、二酸化炭素がたくさん排出されています。この二酸化炭素が空気にたまることで、地球を温める温室のようなはたらきをしてしまい、気温が上がってしまうのです。